



# 想青学園だより

～ 学びあい 育ちあう～

2026年（令和8年）1月7日 No.18



## 謹賀新年



2026年、想青学園3学期がスタートしました。児童生徒のみなさん、冬休みは充実した時間を過ごすことができたでしょうか。今日から始まる3学期、今の学年での最後の学期です。4月には、またそれぞれ新たなステージに立つこととなります。今のうちに身につけておきたいこと、できるようになっておきたいことを自分の目標として設定し、それに向けて頑張っていけるような3学期にしましょう。

保護者・地域の皆様、今年度もあとわずかになりましたが、引き続き、どうぞよろしくお祈りします。そして、9年生は高校入試と卒業が控えています。体調管理にも気を付けて、残りの日々を大切に過ごしてほしいと思っています。また、各学年、次のステップにつながるよう「前進と飛躍」の3学期にしてもらいたいと思っています。そのために、我々教職員も尽力していきますので、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

### 箱根駅伝から

元旦にテレビをつけると、箱根駅伝が放送されていました。ご覧になった方もいるのではないのでしょうか。各チーム1本のタスキをつなぎ、217.1km（往路・復路）を走り抜けます。当然チームによって差は生まれます。先頭を走るチームもあれば、最後尾から一生懸命追いかけるチームも。復路では、スタートから差がついています。

どれだけ一生懸命、死力を尽くして走っても、その差は残酷にも広がることもあります。それでもどの選手も諦めて投げ出すことはしません。先頭だろうが、最後尾だろうが、ひたすらに前を見て走り続けます。時には足を引きずりながら、時には苦痛に顔をゆがめながら、それでも前へ前へと、たくさんの人の応援を受けながら走り続けます。そうした姿に私たちは感動し、明日を生きる力や勇気をもらいます。

さて、私たちも今年度のゴールテープが見えてきました。一人ひとり抱えているものや、目指しているものは違います。それでも、箱根駅伝の選手たちがそうであったように、たくさんの人たちの支えや応援を受けながら最後まで自分のペースで走りぬいてほしいと思います。そして、疲れたときには給水所で一息ついて、また一歩ずつ前進していきましょう。



### 学校長あいさつ ～始業式より～

おはようございます。

今年をはじめ、みんなそろったので新年のあいさつをしましょう。

「あけましておめでとうございます」

2026年、令和8年が始まりました。同時に今日から3学期のスタートです。それぞれの決意や目標を胸に、新学期を迎えたいと思います。

そこで、1年の初めにみなさんに積み上げることの大切さについて、お話をしたいと思います。

みなさんは、「ちりも積もれば山となる」ということわざを聞いたことがありますか。このことわざの意味は、「ちりという小さなごみのようなものでも、数多く積み重なれば高く大きなものになる」ということの例えです。

小さなことでもこつこつと積み上げていくと大きなものになるということです。何かを成し遂げるには、大切な考え方です。

ここに厚さが0.1ミリの紙があります。みなさんが普段使っているノート1ページと同じくらいの厚さの紙だと思ってください。この紙を2つに折って重ねてみます。そうすると、紙2枚分の厚さになりますから、0.2ミリになりますね。

では、この紙をもう1回折って重ねると、厚さは0.4ミリになります。もう1回折ると0.8ミリになります。それでは、これをどんどん折って重ねていって、30回折ったとします。30回折ると厚さはどれくらいになると思いますか。

- ①10メートル
- ②100メートル
- ③1000メートル
- ④10000メートル
- ⑤100000メートル

正解は、何と107キロメートル（④100000メートル）にもなります。

日本で一番高い山の富士山を余裕で超えています。もしも、この紙をもっと折って42回にすると、厚さは何と地球と月までの距離38万キロメートルを超えてしまいます。

今話したように、毎日少しずつ、こつこつと積み上げていくことが大事です。

今日から始まる3学期は、今の学年のまとめをするとともに、4月から始まる新しい学年への準備の期間でもあります。3学期は短いですが、大切な時期です。1日1日を大切に過ごしていきましょう。

